

令和4年第7回笠間市教育委員会定例会議事録

1、招集日時 令和4年7月26日（火） 午後2時00分開議

2、招集場所 笠間市役所教育棟 教育委員会室

3、議事録署名人 菊池 由美

4、出席者 教育長
教育委員 4名
事務局 12名

5、傍聴人 なし

6、提出された議題（議事） 以下のとおり

7、会議の概要

(1) 開会

小沼教育長 午後2時00分開会を宣す。

(2) 議事録署名人の指名

小沼教育長 菊池委員を指名する。

(3) 教育長の報告

小沼教育長 別紙により教育長事務報告をする。

鳥羽田委員 新聞で、学校間連携推進協議会を実施したということで、ウェルネス高校との連携や、挨拶運動が記事になっていました。その中で、小中高の連携が先進的な取り組みだという内容の記載があったのですが、特別支援学校との連携や取り組み、見通しなどについて、お答えいただける範囲で教えていただければと思います。

事務局 今年度、全体として実施を予定しているのが、相互参観です。市内学校の計画訪問が9月以降予定されておりますので、そこに、特別支援学校の先生方も希望で申し込んでいただくということで、話を進めました。一方で市内の学校の先生がたも機会があれば、特別支援学校の授業を見学させていただくという相互参観を予定しております。

鳥羽田委員 わかりました。記事を読んでいると、小中高の連携という内容がクローズアップされていて、そこには特別支援教育も入っているので、そこも記事に入れてほしかったと思いました。

小沼教育長 ほかにございますか。

吉崎委員 算数・数学の研究会があったということで、今後学力調査の結果の検討会もあるようですが、私の認識だと、笠間市全体を見ると、国語と英語は結構よく出来ていますが、算数・数学は県平均程度で、比較すると若干低いかなどと思っています。これはずっと課題になってると思うのですが、この研究会ではそういうことについての話し合いがあったのでしょうか。また、来月に学力調査の検討委員会があると思うのですが、今後の方向性について、考えを聞かせていただきたいと思います。

小沼教育長 2日の火曜日については、福島大学の森本先生による算数・数学の授業力の改善という内容の講話でしたので、学力向上の面については、触れておりません。

事務局 市町村にはすでに結果が届いておりまして、結果を見ると、残念ながら今回は、県や全国から見るとやや下回ってる部分が多いという状況でした。吉崎委員の認識どおり、算数・数学に関しては課題となっております、その部分に関して8月8日の検討委員会で対応策を考えていくというような形となっております。その中で、担当者とは、できるだけタブレットを活用しながら課題解決を図れるような取組みを進めていきたいと話しています。

吉崎委員 笠間市は一人一台端末うまく使っているといますし、コロナによって遠隔授業となったときにも、オンラインがうまく使えたことは良いと思います。一方でICT活用は上手く進んでいるが学力向上という観点で見た時の個別最適化、一人一人の子供の学力の底上げについては課題かなと思っています。個別最適な学びないし共同的な学びというものに、うまくつながるような一人一台端末活用という面について、研究をしていただきたいと思います。

小沼教育長 ほかにございますか。

各委員 (特になしの声)

小沼教育長 それでは、教育長の報告については、以上のとおりとします。

(4) 議事

小沼教育長 それでは、議事に入ります。本日の議事、「報告第16号」及び「議案第19号」は人事案件および教科書の採択案件であることから、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項の規定に基づき、審議を非公開としたいと存じますがいかがでしょうか。

各委員 (異議なしの声)

小沼教育長 異議なしと認め、「報告第16号」及び「議案第19号」の案件を非公開といたします。

【報告第16号】【議案第19号】 非公開

小沼教育長 非公開の案件が終了いたしましたので、会議の非公開を解除します。

小沼教育長 以上で全ての議事が終了いたしました。

(5) その他 なし

(6) 閉会

小沼教育長 午後2時36分閉会を宣す。

8、議決事項

報告第16号	専決処分の承認を求めることについて	承認
議案第19号	令和5年度小中義務教育学校において使用する教科用図書並びに特別支援学級(知的障害)において使用する教科用図書の採択について	可決